



社会福祉法人 長野県社会福祉協議会

「福祉だより信州」は共同募金の  
配分金で発行されています。

昭和27年1月11日  
第三種郵便物認可第750号  
平成29年11月25日発行  
(毎月25日発行)

# 福祉だより 信州



## CONTENTS

今月のフクシちゃん	2
県社協からのイチオシ情報	4
公益事業の推進に向けて	6
WEB INFORMATION	7
住民主体の福祉活動	8

長野県社会福祉協議会  
公民キャラクター

上水内郡飯綱町出身。両親が共働きで幼少期から祖父母と過ごすことが多く、地元で行事で高齢者や地域の人と関わることも好きだったことと、介護系の短期大学に通う兄を間近に見ていたことから、高校卒業後に長野社会福祉専門学校に進学。先輩からの評判がよかった豊野清風園に実習を訪れたことを機に、平成26年に同園に入職。

## 生と死を学び、命の大切さを実感できるのは 介護の仕事ならではのやりがい

**地**域に根ざした介護事業を展開し、病院も併設する豊野清風園。ここで介護士として働く御澤文香さんは、小さい頃から祖父母と暮らし、介護職に就いた兄の影響もあってこの道に進みました。そして、専門学校の実習で同園を訪れたことで、直感的に「ここで働きたい」と思ったそうです。

「実習では麻痺がある利用者をケアの対象者とし、その方ができることを見つけてケアプランを立てたのですが、少しずつできることが増え、最後に麻痺をした手で『ありがとう』と書いた手紙をもらったんです。それが心に残り、入職のきっかけになりました」  
その利用者は今も園にいて、御澤

さんは落ち込んだ時もその方に会うと初心に返って元気をもらえるそう。そうしたなかで御澤さんがこの仕事を通じて感じるのは、利用者の生と死と向き合う意義深さです。

「この仕事をしていると、利用者は常に死と向き合いながら生きていて、一人ひとり亡くなり方は異なることを実感します。それは慣れるものではなく、だからこそ私たちは利用者が最後まで充実した生活が送れるように学ばせてもらえ、命の大切さも改めて自覚させられます。それに、利用者といふ期間が家族より少ない私たちが最期まで看取らせていただけ、感謝の言葉もいただけることは、とても貴重で

大事なことだといつも感じています」  
今後は利用者のさらなる生活の充実のために、外部研修などに積極的に参加して利用者の余暇時間を増やしたいと話す御澤さん。

「余暇の時間に利用者と一緒に運動や手遊びなどをするのは楽しいので、まずはレクリエーションの知識を増やし、いつか、いろいろなことができるようになりたいですね」  
多様な世代がつながり合う介護の現場。特に若い人にとってはここでの出会いが視野を広げ、成長の糧となるでしょう。はつらつとした御澤さんからは、そうした介護の仕事ならではの醍醐味が伝わってきました。



来年には創立100周年を迎える、歴史ある賛育会。そのなかで豊野清風園は地域の交流や季節ごとの行事に重きを置き、御澤さんも利用者の余暇時間を大切にしています。最近では須坂市の菊祭りや紅葉狩りの記念撮影にも出かけました。また、取材日の午前中には小学生が訪問して歌を披露し、午後には地域のボランティアによるコーヒーが提供されるなど、地域密着型の支援体制が整っています。

利用者の可能性を見出し、  
笑顔が見られるやりがい



介護の仕事は、栄養士や理学療法士、看護師など他職種の人と利用者の可能性を見出してケアプランを立て、それを利用者が達成することで、より充実した生活の姿を見ることができ、やりがいがあります。世間では大変だと言われますが、排泄や食事、入浴の介助だけが仕事ではありません。私は利用者に関わっていて楽しいですし、利用者が笑ってくれることが私の安らぎにもつながっています。

社会課題に挑戦する気持ちで  
飛び込んでほしい



介護は一人ひとりの価値観や人生に応じる高度で繊細な仕事。しかし、業界の人材不足が社会課題である今、私たち職員はその仕事の素晴らしさを自覚しつつ、形として人に伝えたいといけません。福祉は広く言えば「幸せ」の意味。だからこそ私たちは地域を巻き込んだ活動の機会をもつことが必要で、地域の人々が自然と福祉に関心をもてる取り組みをする必要もあると感じています。

坂本将之さん  
(介護係長)

人の歴史の最期に立ち会い、  
利用者の思いを支える仕事



私はいろいろな経験や思いをもって生きてきた利用者とそのご家族に「ここで最期を迎えられてよかった」と思っていただけの支援をしたいくらいに常々思っています。それに、息を引き取る瞬間に立ち会わせていただくことは利用者本人やご家族の人生の一部になり、それまでの日々と一緒に考えながら過ごすことはとても大きな意味があります。そういう視点から介護を見てもらえたらうれしいです。

黒岩美紀さん  
(介護主任)



毎月福祉の現場で活躍する若手スタッフをご紹介します。

社会福祉法人賛育会豊野事業所  
特別養護老人ホーム豊野清風園

御澤文香さん

webでも  
ご覧いただけます



# 姨捨山麓で「宝」を見つけた！

## 第41回信州発ボランティア・地域活動フォーラム開催される

### 1 姨捨山伝説に込められた「思い」をテーマに

今年度の「信州発ボランティア・地域活動フォーラム」が、実行委員会及び本会の主催により、10月28日(土)、千曲市内で開催されました。

今回のテーマは「姨捨山は宝の山だ！ひとり一人の思いがつくるみんなの暮らし」です。

千曲市に伝わる姨捨山伝説では「置き去りされた高齢者が実は大切な存在」であったように、「課題」に見えるものを「排除」するのではなく、どうしたら「宝」に



上：高見澤実行委員長のあいさつ  
下：「水晶の会」の皆様による朗読劇「姨捨山伝説」

変えられるか、「共生の地域」をどうつくるか。テーマにこめられたそんな思いを高見澤実行委員長の挨拶、そして「水晶の会」の皆様の朗読劇を通して、300名余の参加者と分かち合いました。

### 2 オープニング「井戸端会議 de お宝さがし」

今回のフォーラムのオープニングはそ



「井戸端会議」で、たくさんの情報交換が展開されました

の名も「井戸端会議 de お宝さがし」、参加者自身の活動上の悩み・思い・課題・語りたことなどを画用紙に書き、見せ合いながらホール内を動き、「井戸端会議」のように語り合いました。

### 3 自慢の活動を縁日の屋台風に紹介！「お楽しみ活動縁日」

お昼には県内各地で様々な活動に取り組む皆様が各々活動を紹介し合う「お楽しみ活動縁日」が開催されました。参



上：農業ボランティア活動で栽培したお米を販売する高校生  
下：「二人乗り車いす」に乗車体験する参加者

加者はお昼を食べながら37の出店者と直接ふれあい、活動の工夫や思いを知って元気をもらい、新しいつながりが生まれました。

### 4 分科会で学びを深める

午後は6つの分科会に分かれて、ボランティア・地域活動の様々なテーマについて学びを深めました。各分科会のテーマ・内容は以下のとおりです。

- 第一分科会「私は〇〇でハッピー」  
・ 男性シニアによる地域づくり活動について、ワールドに語り合いました。
- 第二分科会「私たちの活動が地域の未来をつくっている！」  
・ 次代を担う若者による地域づくり活



クロージングでは趣向を凝らした分科会発表の数々



講師も参加者と一緒に、楽しい交流のひととき(居酒屋第七分科会)

違った雰囲気の中で、活動について熱い想いを語り合うことが出来ました。

### 7 フォーラムを支えてくれた方々

今回のフォーラムのステージを彩った大きなステージバックの絵、これは地元千曲市の戸倉上山田中学校美術部の生徒さんが文化祭用に制作したものをお借したものです。また今回のフォーラムチラシのイラスト・参加者にお配りしたクリアファイルのイラストは、それぞれ千曲市社協の大平優希さん、千曲市在住の高校生石黒智大さん(通称コナンくん)に描いていただきました。

また当日は、長野大学の学生の他、中学生・高校生などのボランティアの皆様も運営を支えて下さいました。実行委員の皆様、長野ブロック内各社協の皆様、本フォーラムの組み立てから当日の指導までご指導ご協力いただいた松田先生、そしてご参加いただいた



左上：第5分科会 中上：第3分科会 右上：第1分科会 左下：第6分科会 中下：第4分科会 右下：第2分科会

動について老若男女で語り合いました。○ 第三分科会「あげちゃおう♪もちやちやおう♪しゃべっちゃおう♪」  
・ 子育て中の思いをみんなまでシェアし、誰もが気軽に参加できる活動の種を見つけました。  
○ 第四分科会「地域の居場所、みんなが集まる子ども食堂」  
・ 「貧困」に誰もが「我が事」として取り組むため、自分のできることを探りました。

### 6 昼間とは違った雰囲気での語り合いの場、「居酒屋第七分科会」

全プログラム終了後、フォーラム参加者有志40名余が「居酒屋第七分科会」に参加し、情報交換を深めました。お酒も入り、実行委員が趣向を凝らしたゲームを行う中で、参加者同士が昼間とは

### 5 クロージングで気づきと学びを共有

クロージングでは、分科会で得られた気づきと学びを発表し、参加者全体で共有しました。動画や寸劇など、どの分科会も趣向を凝らした発表方法で、得られた「宝」をみんなで楽しく共有することができました。



左上：参加者全員で記念撮影 右上：戸倉上山田中学校美術部の皆さんが制作しました 左下：ゆるキャラのお出迎え 左下：クリアファイルとチラシ



お昼の時間は「お楽しみ活動縁日」が賑わっていました

# WEB INFORMATION

小中学生ボランティア新聞「やまびこだより」前期号を発行しました。



小学生版「地域と共につくる縄文まつり」では、千曲市立更級小学校と地域の皆さんでつくるお祭り、「さらしなの里縄文まつり」の取り組みを紹介しています。「縄文まつり」は全校児童が6年間をとおしてそれぞれ役割を持ち、「地域の一員」として主体的に企画・運営に関わっています。

中学生版「僕らの力で地域を元気に!」では、長野市松代地区で「豊栄地域活性化委員会」として活動している中学生の取り組みを紹介しています。「豊栄が大好き」という中学生が、地域の困りごとに対して自分たちができることを考え取り組んでいます。

共通点は、地域の大人が子ども達の想いに寄り添い、「共に」地域に向き合っていること。子ども達の力を引き出し生かすヒントが満載の前期号、ぜひご覧ください。

[http://www.nsyakyo.or.jp/modules/vola\\_contents/index4\\_6\\_18\\_p662.html#p662](http://www.nsyakyo.or.jp/modules/vola_contents/index4_6_18_p662.html#p662)

連絡先/長野県社会福祉協議会  
地域福祉部 ボランティア振興グループ



## 福祉人材スタダディーツアー inベトナムに行ってきました!



11月15日から20日までソウェルクラブ長野の会員交流事業の一環として、外国人・介護人材の受け入れに歴史のある愛知県の社会福祉法人役員を案内人に、ベトナム・ホーチミン市を訪れました。国内の介護人材が不足する中、海外からの介護人材受け入れに興味のある法人など14名が参加しました。今回のツアーではベトナムの看護大学の様子や現地から日本への送り出し機関、介護施設の現状を視察しました。

案内人:古田周作氏 社会福祉法人 福寿園(愛知県田原市)



今回のツアーは長野県社会福祉協議会の 務理事を団長に、長野県社会福祉法人経営者協議会会長、富士見市社会福祉協議会 会長、県内社会福祉法人の常務理事、法人本部長ら14名が参加しました。右の写真は、エスハイ社(カイゼン学校)での授業の様子。彼女らは1年間かけて日本語能力試験でN3レベル到達を目標に学習し、来日してからも就業しながら日本語と介護福祉士学習をし、目標である資格取得を目指す

### 平成29年度 社会福祉施設 総合損害補償

# しせつの損害補償

インターネットで保険料試算できます  
ふくしの保険 検索

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の  
**事故・紛争円満解決のために!**

加入対象は、社協の会員である社会福祉法人等が運営する社会福祉施設です。

スケールメリットを活かした  
充実した補償と  
割安な保険料  
です。

◆29年度新設 看護師の賠償責任補償(プラン1-①オプション2)

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記までお願いします。●

プラン	施設業務の補償 (賠償責任保険、動産総合保険)
1	基本補償(賠償・見舞)

賠償事故	賠償金額
対人賠償(1名・1事故)	2億円・10億円
対物賠償(1事故)	2,000万円
受託・管理財物賠償(期間中)	200万円
うち現金補償限度額(期間中)	20万円
人格権侵害(期間中)	1,000万円
身体・財物の損壊を伴わない経済的損失(期間中)	1,000万円
事故対応特別費用(期間中)	500万円
お見舞い等	被害者対応費用(1名につき)
傷害見舞費用	死亡時10万円 後遺障害0.3-10万円 入院時3万円 通院時1万円 (1事故で10万円限度)

保険期間 1年	年額保険料(掛金)
定員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) + 【見舞費用加算】  
定員1名あたり  
入所:1,300円  
通所:1,390円

プラン2 施設利用者の補償  
プラン3 施設職員の補償  
プラン4 社会福祉法人役員等の補償

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

(SJK16-16919 2017.2.3作成)

### 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

# ボランティア活動保険

平成29年度 全国200万人 加入!!

http://www.fukushihoken.co.jp  
ふくしの保険 検索

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金額	プラン	Aプラン	Bプラン
死亡保険金		1,320万円	1,800万円
後遺障害保険金		1,320万円(限度額)	1,800万円(限度額)
入院保険金日額		6,500円	10,000円
手術保険金	入院中の手術	65,000円	100,000円
	外来の手術	32,500円	50,000円
通院保険金日額		4,000円	6,000円
特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
葬祭費用保険金(特定感染症)		300万円(限度額)	
賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	

年間保険料(1名あたり)	プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ		350円	510円
天災タイプ(※)		500円	710円

保険金をお支払いする主な例

ボランティア行事用保険 送迎サービス補償 福祉サービス総合補償

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険) (傷害保険) (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
TEL:03(3349)5137  
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763  
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)  
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJK16-16921 2017.2.3作成)

# 住民主体の福祉活動 地域づくりレポート

## 時を経て生まれ変わる



上:多くの学生の食事を作っていた  
厨房は、今度は地域のために稼働  
している。  
下:食堂脇の大きな薪ストーブも、  
次の出番を静かに待つ。

NPO法人辰野自立生活支援の会あかりでは、9月から配食弁当専用の厨房をもった。そこは近くにある短大の元女子寮。30部屋以上を有する建物は、2年前まで学生が入居していたが、寮母の中村博子さんの引退に伴って閉鎖された。あかりの「拠点をもちたい」という長年の強い想いとこの建物は、ある偶然から出逢う。そして新しく『両者にとっての拠点』として生まれ変わった。「この2年間寂しかった。賑やかさが消えていたから、人が出入りするの嬉しい!」と中村さんは相好を崩す。あかりの小林理事長は「専用厨房をもてたことで携わる人の作業性・効率性のアップとなり、それがやりがい・生きがいにつながっている。」と話す。今後は自由に使える厨房を使って夕食の配食や、広い食堂内のサロン開催・多世代交流等も考えていくという。

学生の居場所から地域の居場所へ。多方面からアンテナが伸びてきて、その想いが一致して交わった時、より強い力となって活動は進む。

連絡先 / NPO法人辰野自立生活支援の会あかり TEL 0266-41-5256

## 今月の逸品

有旅の丘では信州の伝統的工芸品である「松代焼」をつくっています。作業工程の全てが難しいですが、手作業の作成にこだわりを持っています。その為、味わい深い仕上がりになっており愛着が持てる製品です。皆様是非お買い求めください。

社会福祉法人しのい福祉会ポーチ有旅の丘  
〒388-8011 長野市篠ノ井布施五明2259  
TEL / FAX 026-292-6574



webでも  
ご覧になれます

## 情報掲示板

### 県社協からのお知らせ

- 災害時の連携を考えるフォーラム  
日程 / 平成30年1月29日(月)  
会場 / ホテルメトロポリタン長野  
問合せ先 / 社会福祉法人長野県社会福祉協議会  
地域福祉部 ボランティア振興グループ  
TEL / 026-226-1882

### 新着助成金情報

- 住まいとコミュニティづくり活動助成  
問い合わせ先 / (一財)ハウジングアンドコミュニティ財団  
応募締切 / 平成30年1月10日  
TEL / 03-6453-9213  
URL / <http://www.hc-zaidan.or.jp/program.html>
- 2018年度地域ささえあい助成  
問い合わせ先 / 日本コープ共済生活協同組合連合会  
応募締切 / 平成30年1月31日  
TEL / 03-6836-1320  
URL / <http://coopkyosai.coop/about/csr/socialwelfare/2018.html>

- ご感想、お問合せ、  
掲載希望等は下記へお寄せください。

長野県社会福祉協議会  
総務企画部 総務グループ  
TEL 026-228-4244 FAX 026-228-0130  
E-mail [soumu@nsyakyo.or.jp](mailto:soumu@nsyakyo.or.jp)

webでも  
ご覧になれます



## ざわめくアート



『無題』 保科早希 (ほしなさき) 18歳 長野市在住

表現活動を支援するスタッフが、紙の上に絵具をぼたぼたと垂らすと、作者は嬉しそうな笑顔で、その絵の具を手の平でグルグルぐりぐり塗り広げる。僕らはそれを『ぬりぬり』という。べっとりと手に付いた絵の具はそのうち自分の腕や、顔までぬりぬり。どこまでが表現と言えるのか、単なる絵の具の感覚遊びか? 作者は意図していないが、出来上がった色の広がり、見る者の想像力を膨らませる。